



歴史の扉

2002

第9号

(財) 広島市文化財団 文化科学部 文化財課



これは
お城!

特集 大解剖 山の上のお城

これも
お城?

「城」って聞くと、高い天守閣や石垣、広い水堀なんかが真っ先に思い浮かぶよね。でもちょっと待って！みんながよく知っているお城がつくられるよりも前の時代には、山の上をうまく利用してつくった「山城」が一般的だったんだ。今回は広島市内にもたくさん残るそんな山城を紹介するよ。



これが

山城ダ!!

ここは、今から500年ほど前に築かれた山城・串○城。この城では、かつて激しい城攻めの戦いがおこなわれたそうです。そうした昔の話に詳しい地元の方お二人に、お話をうかがいました。

私のご先祖□□は、城攻めの軍に雑兵として参加しました。彼は尾根づたいに城に近づきましたが、城の一一番外側に掘ってある大きな溝を渡りきれずにいたん引き返したそうです。

そうですか。実は私のご先祖△△もその戦いに参加していたんですが、彼は城を守る側だったそうです。

へえ、それは偶然ですね。

△△は一番高い所のくるわを守っていて、そこからは敵が攻め上がってくる様子がよく見えたといいます。その中に□□さんもいたんですね。でも、敵は自分たちのいた所までは上がってこられなかったそうです。

一度退いた□□は、今度は山の斜面を登り始めたんです。でも目の前には敵兵が守る小さなくるわが段々に連なっていて、頭の上からも横からも鉄砲の弾や矢がビュンビュンとんできて、もうタジタジ。どこから攻めても、いつも敵にねらわれて、結局攻めきれずに全軍引き上げたらしいんです。

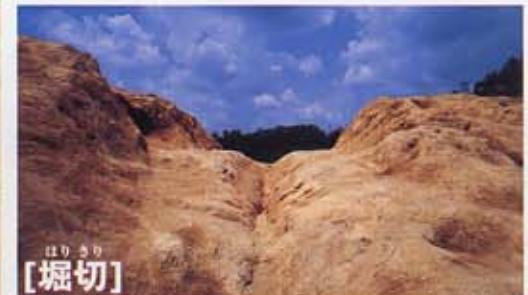
やっぱりね。

△△の話だと、この串○城は平らなくるわや深い溝・土壘（土を盛り上げた防衛用の施設）などをうまく配置していて、守りやすく攻めにくい城として評判が高かったらしいですよ。

うーん、それじゃあしょうがないねえ。それにしても、立派な建物や石垣がなくても守りきれるんだから、山城のしきかけはよく考へてあるんだねえ。

いやあまったく。

●山城のしきかけ Vol.1



[堀切]

山頂へ続く尾根づたいに侵入してくる敵を防ぐために、尾根を横切るかたちで掘られた巨大な溝が堀切です。

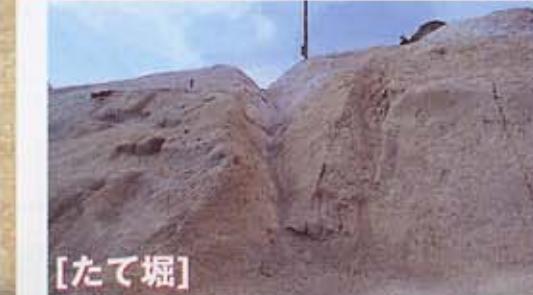
●山城のしきかけ Vol.2



[くるわ]

山城の中で平らにならした場所をくるわと呼びます。ここにさくをめぐらせたり、城兵を配置したりして守りを固めました。

●山城のしきかけ Vol.3



[たて堀]

斜面にそって上下に掘られたたて堀は、登つてくる敵を横へ動きにくくするためのもので、上から攻撃するのに好都合でした。



模型は佐伯区・串山城の発掘調査の成果をもとに製作したものです。

●山城で使われた道具たち



[武器・武具]

佐伯区・有井城



[すり鉢]

安佐南区・伴東城

山城を発掘調査すると、鐵のやじりやよろいの部品といった戦争用の道具のほかに、焼き物などの生活道具も見つかります。それらの道具類は、城にたてこもった人たちが使ったものなのでしょうか。

こんなところにも山城が…



左の写真は、安芸区内に残っている鳥籠山城に行った時のように、大きな溝を横から見ているんだけど、人のサイズとくらべるとその規模がわかるってもらえるかな。

広島市内ではなんと200ヶ所以上の山城が見つかっているんだ。みんなのうちや学校のすぐ裏山にも、ひょっとしたら山城が残っているかもしれないよ。ぜひ一度探検に行っみてよう！

発掘調査情報2001

弥生ムラ発見!!

三谷遺跡



火事のあった住居

安芸区中野東にある三谷遺跡は、瀬野川を見下ろす日当たりの良いゆるやかな斜面にあります。これまでの調査で、弥生時代中期後半から後期(約2000~1700年前)にかけての大量の土器や、竪穴住居跡約10軒を確認しました。三谷遺跡は、瀬野川流域の弥生ムラとしては初の本格的な発掘調査となります。今後の調査で、当時のこの地域の人々の暮らししぶりが明らかになっていくでしょう。

ひろしまの首長が眠る!?

中小田古墳群



史跡中小田古墳群は安佐北区口田南町の小高い山の上にあり、太田川をはじめ周辺地域を見渡すことができるみはらしの良い場所に位置しています。これら古墳群の整備を行う上で基礎資料を得るために、各古墳の形や大きさを調べています。今回、第1号古墳を調査し、全長約30mの前方後円墳であることを再確認しました。

お城の正体を探る

広島城跡



平成8年度から始まった本丸遺構の保存状況調査も、はや6年目をむかえました。今年度は、本丸上段の北縁に連なる石垣上及びその周辺と、下段の北東隅の櫓台上を調査しました。その結果、櫓の柱を支えていた礎石の列や、石垣の内部につめられている裏込め石などが比較的良い状態で残っていることが分かりました。

事業紹介



さわれる歴史貸します。

弥生土器・須恵器・石鐵・石斧…。
みんな教科書の写真で見たり博物館に展示してあるのは知っているけど、本物はどんな手ざわりなの? 重さは? 本当に切れるの? そんな疑問にお答えするのも私たちの役目です。いろんなグッズを持って、みんなの学校に登場するかも! 学校の先生に相談してみてね。